

お客様へ

みやこ浄土ヶ浜遊覧船乗組員一同

みやこ浄土ヶ浜遊覧船事業の終了について

このたび、昭和37年開業以来、三陸海岸国立公園の景観を多くの皆様にお楽しみいただきました『みやこ浄土ヶ浜遊覧船』を令和3年1月11日（月）の運航を持ちまして終了することといたしましたので、お知らせいたします。

『みやこ浄土ヶ浜遊覧船』は、宮古市及び浄土ヶ浜、さらには三陸沿岸地域における定番の観光素材としてその役割を果たしてまいりました。一方、観光ニーズの多様化、団体旅行の減少、さらには東日本大震災の影響により、事業を取り巻く環境は厳しさを増してまいりました。そのため船舶数は最盛期の10隻から現在は1隻のみとなり、震災後に唯一残った船舶で復興の観光拠点となるよう運航を継続しております。今般、赤字運航常态化に加えて、船の老朽化や乗組員の高齢化により運航自体の継続が困難となってきたことから、やむを得ず事業終了の判断に至りました。

遊覧船事業は終了となりますが、地域全体の復興に向けた歩みの中で、岩手県北バスグループとしては、交通・観光事業者として観光振興を図ることを通して三陸沿岸の交流人口拡大に貢献すべく、今後とも努めてまいります。

58年にわたり、ご乗船いただきました多くの皆様には心より深く感謝申し上げます。今後の運航については、来年1月のラストランまで、新型コロナウイルス感染対策をしっかり準備し、安全運航を第一にお客様をお迎えしてまいります。なお、夏休み企画とラストランまでの今後の予定について、下記の通りお知らせいたします。

夏休み企画、ラストランについて

【夏休み企画】

7/23-8/31 ～さようなら夏の遊覧船～

夏休み子供応援企画：

- ・乗船いただいたお子様にウミネコパン1個プレゼント

宮古市民への謝恩企画：

- ・乗船料金 大人 1,500円⇒1,000円
子供 750円⇒500円

岩手県民への謝恩企画：

- ・乗船料金 大人 1,500円⇒1,200円
子供 750円⇒600円

【ラストラン】

2021年 1/1	本州最東端初日の出クルーズ（限定200名）
1/1-1/3	遊覧船最後のお正月クルーズ
1/9-1/11	宮古市民感謝の三日間（内容未定）
1/11（13:40）	さようなら遊覧船ラストクルーズ（ラストホーン【汽笛】）

みやこ浄土ヶ浜遊覧船のこれまで

本事業は開業以来、陸中海岸が国立公園に制定されたと同時に時代にブームを起こしました。東北新幹線の開業も相まった利用者の増加をうけ、船舶を増強しながら、宮古～田老～島の越～普代航路、山田～船越航路といった陸中海岸を縦断する船舶事業を展開いたしてまいりました。

しかしながら、その後の利用者が減少し、航路の短縮や減船を余儀なくされました。



（開業時ころの写真）



（H23/3/11の写真）

平成22年には、浄土ヶ浜周遊コースと山田の臨時便航路を3隻で運航を維持いたしましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波で、「第15陸中丸」と「かもめ」が被災により廃船、同年7月に「第16陸中丸」一隻で運航を再開いたしました。

震災後の復興需要やあまちゃんブーム、三陸鉄道の復活・全線開業、近年ではラグビーワールドカップ開催による利用者のプラス効果などもありましたが、長期的には震災前からの利用者減少に歯止めがかかりませんでした。また、現在運航中の「第16陸中丸」の船齢も30年以上となり修繕維持費用は増加してきております。それでも、震災後に唯一残った船舶で震災復興の観光拠点となるよう、宮古魚市場見学付きの朝船といった各種企画運航なども行い利用促進に努めつつ運航を継続して現在に至っております。



(近年の写真)

みやこ浄土ヶ浜遊覧船について

- ・(宮古市内からのアクセス)
宮古駅から岩手県北バスで15分
浄土ヶ浜ビジターセンター下車後、
徒歩、約7分
- ・(遊覧船の特徴)
三陸ならではの景観を洋上から堪能
ウミネコの餌付けも楽しめます。
- ・(遊覧船の運航情報)

<http://jodo-yuransen.jp/>



(第16陸中丸の写真)

【本件に関するお問い合わせ先】

みやこ浄土ヶ浜遊覧船

担当：遊覧船事業部長 八重樫 真

電話：0193-62-3350

FAX：0193-63-8979

<http://www.jodo-yuransen.jp/>

〒027-0001 岩手県宮古市日立浜町 32-69